

大名みえ子です

12月議会
一般質問
から

来年度から、幼稚園・保育所・こども園の担任を持った臨時職員の処遇が改善されます

大名 臨時職員が担任をしていることや、産休や病休等での代替え職の場合も同様のことがあり、負担が大きくなっている。本村としては、正規職員を採用しつつ、当面担任を持った幼稚園・保育所・こども園の臨時職員、代替え職員の担任手当て等を検討してはどうか、新年度予算にぜひ盛り込むべきと提案します。

総務部長 村としても、臨時職員の同一労働同一賃金という観点から、この課題は喫緊に解決しなければならないものにとらえてきている。従前より検討を重ねてきた結果、今般臨時職員に係る賃金を改善し、来年度から募集を行います。

大名 子育て支援を拡充するために、こどもの医療費無料化を、高校卒業までに引き上げてはどうか

福祉部長 本村は、中学卒業までは、完全に医療費無料化とし、高校卒業までの医療費については、ひとり親家庭の場合に、親の分も含めて完全無料化としている。さらに、妊娠期間中のすべての医療費や入院時の食事代を助成している。これらは、安心して産み、育てられる環境整備のためには、効果的な制度の1つであると認識するが、医療費の推移や、今後の財政等長期的に勘案する必要から、当面は、中学生までの医療費無料化を継続したいと考えます。

請願の委員会 採決（原特委）

地域と住民の安全確保を強めるために、日本原電が『安全協定』を見直すよう求める行動を要請する意見書の採択を求める請願書—賛成少数で不採択に（賛成4、反対5）

14日に開かれた原特委員会には満席の傍聴者が集まる中、標記の請願の採決が行われました。

委員会ではこの間、請願者の趣旨説明聴取、県の安全協定及び全国の安全協定の概要と、原子力所在地域首長懇談会の協議内容の調査等行ってきました。請願の審査上、こうした調査のみで良いのか疑問はありましたが、新政とうかい、公明党の委員は、何を調査するか意見を出さないため、上記調査等について、大名や恵利、清宮、阿部の各委員が提案してきました。

1つ1つの調査が終わるたびに、特に新政とうかいの委員らは、「調査の結果こう考えた」という事については述べず、「もう採決しても良い」と主張し、委員会としての調査には程遠い感じがしました。請願に「賛成」か「反対」かは、もう決まっているので採決で良いとの主張です。公明党の委員は、14日の委員会で、「意見が2分しているのに議論を続けるのは生産性がない」と発言し、まるで本請願は、委員会に付託するまでもなかったかのような意見を述べました。

本請願審査で重要なのは、請願が提出されるに至った背景を、委員会としてどう認識し共有するかにありました。福島第1原発事故の前と後で、安全協定の在り方がそのままいいのかどうかの議論は、深められませんでした。しかし最終的に、首長会議が求める「見直し」は、覚書どおり進められることに異存はないという意見が多数になりつつも、そうしたもとでは村議会から意見書をあげる必要はないと、**不採択に！**